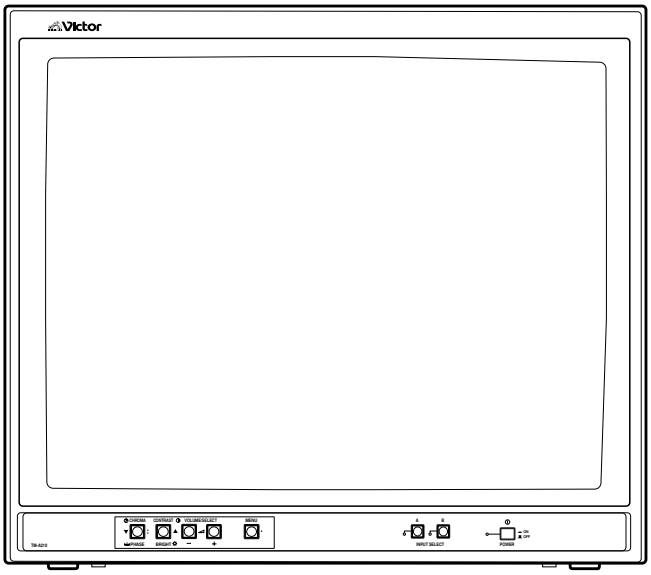
Victor

"HIS MASTER'S VOICE"

ビクターカラービデオモニター

型名 TM-A210

取扱説明書



目　次

ページ

安全上のご注意 ---------- 2
各部のなまえと使いかた ---------- 6
基本操作のしかた ---------- 8
メニュー機能の使いかた ---------- 9
設定を初期化するには ---------- 12
基本接続のしかた ---------- 13
故障かなと思ったら
（トラブルシューティング） ---------- 15
保証とアフターサービス ---------- 16
主な仕様 ---------- 17

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために大切に保存してください。

LCT1355-001B-H

安全上のご注意

「安全上のご注意」は、モニター全般に共通する内容を記載しています。

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。
これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告	この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。
⚠注意	この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


指をはさまれないよう注意


感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号


禁止


水場での使用禁止


ぬれ手禁止


分解禁止


接触禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号


電源プラグを抜く


一般的指示


アース線をつなぐ

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●モニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
●モニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
●電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。


一般的注意


電源プラグを抜く

転倒防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。地震などで転倒すると、けがをする原因となります。
詳しくは販売店にご相談ください。


一般的注意

安全上のご注意（つづき）

⚠警告　設置するときの警告

●不安定な場所に置かない
ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。


禁止

●モニターの通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。
次のことにご注意ください。
・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
・じゅうたんや布団などの上に置かない
・テーブルクロスなどを掛けない
・横倒し、逆さま、あお向けにしない


禁止

●指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


禁止

●壁や他の機器と間隔をあけて設置する
内部に熱がこもり、火災の原因となります。
次のことに注意してください。
・壁や家具などから10cm以上離す
・他の機器との間隔をあける
・ラックなどに入れたときは機器の天面から10cm以上、背面10cm以上すき間をあける


一般的注意


一般的指示

⚠注意　設置するときの注意

●次のような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。
・湿気やほこりの多いところ
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところ
・熱器具の近く
・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。


禁止

●機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、モニターの電源コードはモニター本体につないでから、壁のコンセントに差してください。


一般的注意


一般的指示

●電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く
壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。
電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、モニター本体側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグをもって抜いてください。


電源プラグを抜く

●モニターの上に他の機器を載せたまま移動しない
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。


禁止

●移動するときは接続コード類を外す
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。
また、モニターは前面側が重いので必ず2人以上で、バランスに気をつけて持ってください。けがの原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。特にブラウン管には気をつけてください。


電源プラグを抜く

●キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する
キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。


一般的注意


一般的指示

●安全アースを接続する
安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。
電源プラグから出ている緑色のアースリード線を建物に備えられているアース端子につないでください。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外して行なってください。


アース線をつなぐ

安全上のご注意（つづき）

⚠警告　使用するときの警告

●モニター内部に物を入れない
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。


禁止

●電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


禁止

●電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない
ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。


禁止


一般的指示

●モニターに水をかけない
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、モニターの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。


水場での使用禁止


水ぬれ禁止

●モニターの裏ぶた（カバー）は外さない
モニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。


感電注意

●モニターを改造しない
火災・感電の原因となります。


分解禁止

●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。


接触禁止

⚠注意　使用するときの注意

●モニターの上に物を置かない
重いものやモニター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。


禁止

●モニターの上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。


禁止

●電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む
ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。


一般的指示

●根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない
発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。


禁止

●電源プラグはコードの部分を持って抜かない
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。
プラグの部分を持って抜いてください。


禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。


ぬれ手禁止

●長期間モニターを使用しないときは、電源プラグを抜く
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。


電源プラグを抜く

●お手入れをするときは電源コード（電源プラグ）を抜く
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。


電源プラグを抜く

安全上のご注意（つづき）

⚠注意　使用するときの注意（つづき）

●**５年に一度はモニター内部の掃除を販売店に依頼する**


一般的注意

モニターの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

●**長時間、スピーカーの音がひずんだ状態で使わない**


禁止

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持ったかたが操作してください。

お手入れのしかた

●**キャビネットやブラウン管面の汚れは**

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

●**キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。**

・堅い布でふかない
・強くふかない
・シンナーやベンジンでふかない
・殺虫剤など揮発性のものをかけない
・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

見る場所について

●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ることも目を疲れさせますのでよくありません。
ときどき目を休めてください。

●設置状況や環境によって画像が揺れるときは、使用しないでください。視力低下の原因となります。

ブラウン管の焼き付きについて

●**同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さない**

ブラウン管に画像が焼き付くことがあります。
通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

磁気に対する注意について

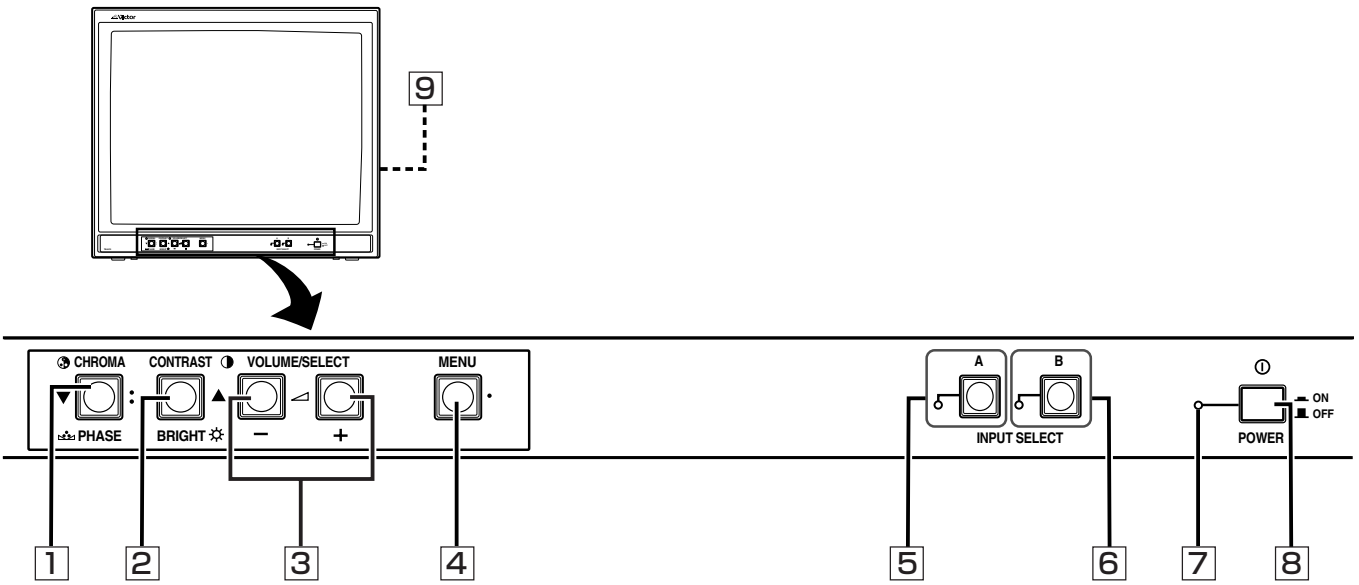
●磁石、スピーカー、電気時計、磁石を使用している機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて色が乱れたり、画面が揺れたりすることがあります。
また、高圧送電線や変圧器など強い磁界を発生する機器の近くには設置しないでください。

●モニターに外部スピーカーを近づける場合は、画面が影響を受けるおそれがあります。
近くにスピーカーを設置するときは防磁スピーカーをお使いください。

各部のなまえと使いかた

前面

＜前面操作部＞



1 CHROMA ( ) /PHASE ( ) ボタン
このボタンを押すと映像の色の濃さを調整するモードになります。
もう一度押すと映像の色相を調整するモードになります。
VOLUME/SELECT ボタンで値を調整します。
また、メニュー機能時にはメニュー項目のコントロールボタンになります。

2 CONTRAST ( ) /BRIGHT ( ) ボタン
このボタンを押すと映像のコントラストを調整するモードになります。
もう一度押すと映像の明るさを調整するモードになります。
VOLUME/SELECT ボタンで値を調整します。
また、メニュー機能時にはメニュー項目のコントロールボタンになります。

3 VOLUME/SELECT (− +) ボタン
内蔵スピーカーの音量を調整します。
また、メニュー機能時にはメニュー項目のコントロールボタンになります。

4 MENU ボタン
< MENU >画面を表示したり、消したりします。
また、MENU ボタンと CHROMA/PHASE ボタンを同時に押すと< SET-UP MENU >画面を表示します。

5 INPUT A (VIDEO) ボタンとランプ
背面の VIDEO A 端子に入力された映像信号と AUDIO A 端子に入力された音声信号を選択するボタンです。
選択するとランプが点灯します。

ボタン	端子
INPUT A	VIDEO A 端子 14

6 INPUT B (VIDEO/Y/C) ボタンとランプ
背面の VIDEO B 端子に入力された映像信号 /S 映像信号 (Y/C) と AUDIO B 端子に入力された音声信号を選択するボタンです。
選択するとランプが点灯します。

ボタン	端子
INPUT B	VIDEO B端子 15

お知らせ

- 映像信号と S 映像信号 (Y/C) を両方接続しているときは S 映像信号 (Y/C)が優先されます。

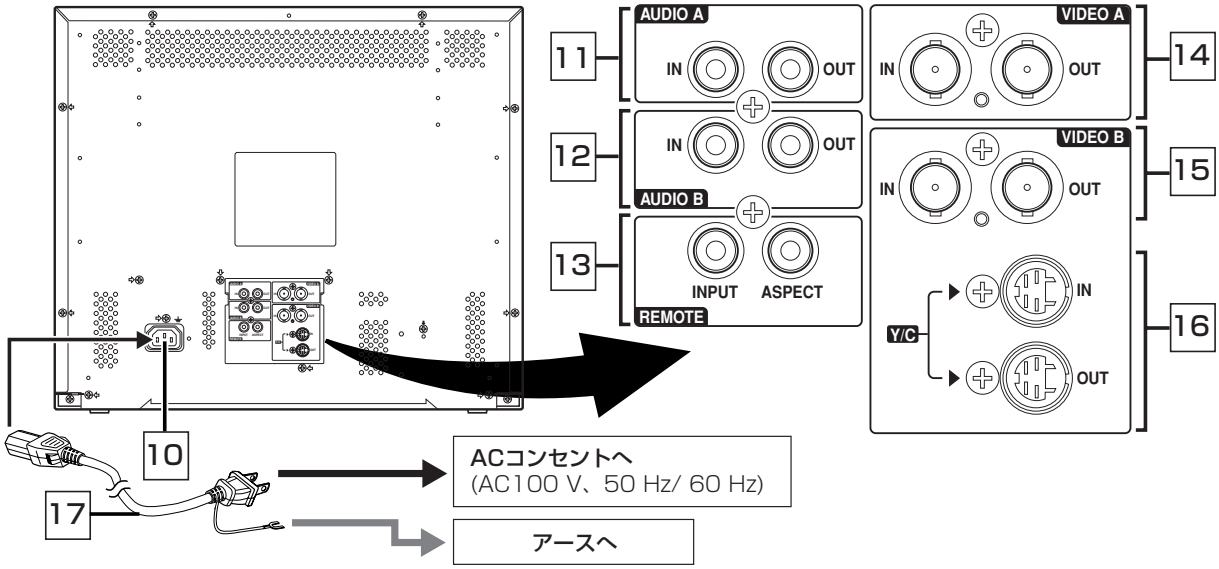
7 POWER 表示ランプ
電源が「入」のとき、点灯（緑）します。
点灯：電源「入」のとき
消灯：電源「切」のとき

8 POWER ( ) スイッチ
本機の電源を「入」/「切」します。
▂：電源「入」になります
▀：電源「切」になります

9 内部スピーカー
前面から見て右側の内部にスピーカーが付いています。

背面

<背面端子>



10 **AC 入力端子**
本機の電源入力端子です。付属の電源コード 17 で AC コンセント（AC100 V、50 Hz/60 Hz）に接続します。

11 **AUDIO A 端子**
VIDEO A 端子 14 に対応した音声信号の入力端子（IN）と出力端子（OUT）です。出力端子はブリッジ出力です。
IN　：音声信号の入力端子
OUT　：ブリッジ出力端子

お知らせ

- この音声に対応した映像信号は VIDEO A 端子 14 を使います。
- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

12 **AUDIO B 端子**
VIDEO B 端子 15 に対応した音声信号の入力端子（IN）と出力端子（OUT）です。出力端子はブリッジ出力です。
IN　：音声信号の入力端子
OUT　：ブリッジ出力端子

お知らせ

- この音声に対応した映像信号は VIDEO B 端子 15 を使います。
- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

13 **REMOTE 端子**
外部制御用の REMOTE 端子です。INPUT A/B の入力切り替えと ASPECT RATIO（アスペクト比）の切り替えが、それぞれ外部から制御出来ます。外部制御するときの設定は <SET-UP MENU> 画面で行います。
また、接続する外部制御スイッチ・ケーブルは必要に応じて製作してください。

外部制御機能	外部制御スイッチ	
	開放（オープン）	短絡（ショート）
ASPECT RATIO	4 – 3(4 : 3)	16 – 9(16 : 9)
INPUT	INPUT A	INPUT B

お知らせ

- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

14 **VIDEO A 端子**
映像信号の入力端子（IN）と出力端子（OUT）です。出力端子はブリッジ出力です。
IN　：映像信号の入力端子
OUT　：ブリッジ出力端子

お知らせ

- VIDEO A 端子に対応した音声信号は AUDIO A 端子 11 を使います。
- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

15 **VIDEO B 端子**
映像信号の入力端子（IN）と出力端子（OUT）です。出力端子はブリッジ出力です。
IN　：映像信号の入力端子
OUT　：ブリッジ出力端子

お知らせ

- VIDEO B 端子に対応した音声信号は AUDIO B 端子 12 を使います。
- 映像信号と S 映像信号を両方接続しているときは S 映像信号が優先されます。
- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

16 **VIDEO B(Y/C)端子**
Y/C（S映像）信号の入力端子（IN）と出力端子（OUT）です。出力端子はブリッジ出力です。
(出力端子にケーブルが接続されていない時は自動的に終端されます。)
IN　：Y/C（S映像）信号の入力端子
OUT　：ブリッジ出力端子

お知らせ

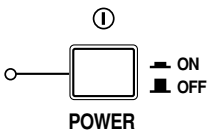
- VIDEO B (Y/C)端子に対応した音声信号は AUDIO B 端子 12 を使います。
- 映像信号と S 映像信号を両方接続しているときは S 映像信号が優先されます。
- 13 ページの「基本接続のしかた」もよくご覧ください。

17 **電源コード**
電源入力端子の AC IN 端子と AC コンセント（AC100 V、50 Hz/60 Hz）を接続する電源コード（付属）です。プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続します。

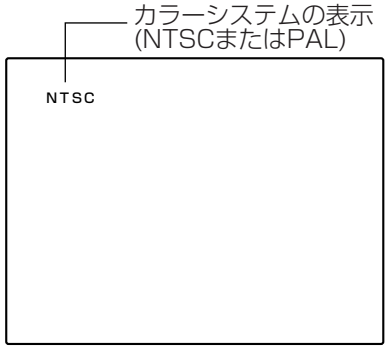
基本操作のしかた

基本操作

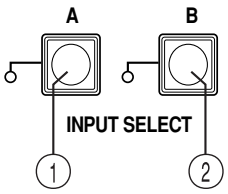
1 *POWERスイッチを押し、電源を「入」にする*



▂ON (入) ：電源が「入」になります。
(POWER表示ランプ：点灯)
▆OFF (切)：電源が「切」になります。
(POWER表示ランプ：消灯)



2 *INPUT SELECTボタンを押し、入力を選択する*



背面の端子に入力された信号を選択します。

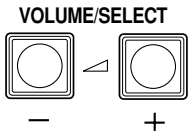
INPUT SELECT ボタン	背面の端子	
	映像信号の入力	音声信号の入力
① INPUT A (VIDEO)	VIDEO A 端子	AUDIOA 端子
② INPUT B (VIDEO/ Y/C)	VIDEO B 端子	AUDIO B 端子
	VIDEO B(Y/C) 端子	

＊映像信号とS映像信号 (Y/C)を両方接続している時はS映像信号 (Y/C)が優先されます。

カラーシステムの表示について

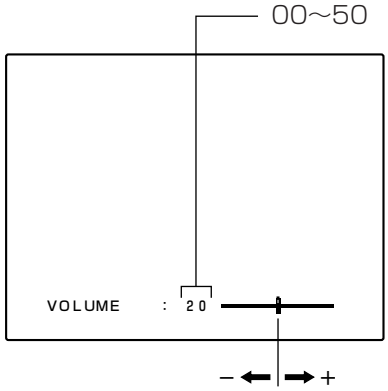
●「COLOR SYSTEM」の設定が「AUTO」のときに、電源を入れたり、入力を切り替えたとき、NTSCまたはPALの信号を受信していると約 3 秒間表示されます。
白黒信号や無信号のときは表示されません。
「COLOR SYSTEM」の設定については9ページをご覧ください。

3 *VOLUME/SELECTボタンを押し、音量を調整する*



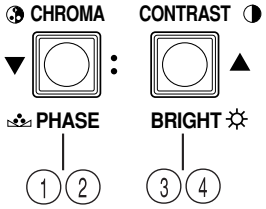
ボタンを押すと音量の画面表示が出ます。
＋側：内蔵スピーカーの音量が大きくなります。（00→50）
−側：内蔵スピーカーの音量が小さくなります。（50→00）

＊表示後、何も操作しないと約10秒後に画面表示は消えます。
＊ 画面表示はメニューボタンを押して消すことができます。



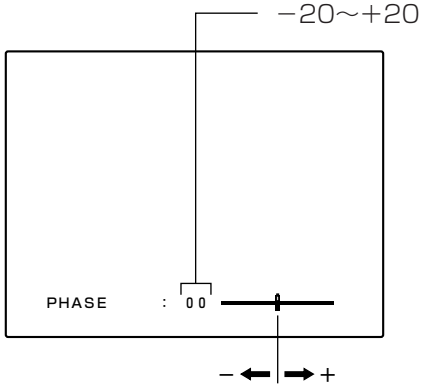
映像調整

1 *映像調整する項目の選択ボタンを押す*

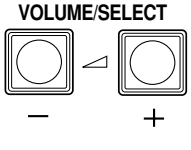


押したボタンの映像調整の画面表示が出ます。
① CHROMA　：色の濃さの調整
② PHASE　：色相の調整
③ CONTRAST　：コントラストの調整
④ BRIGHT　：明るさの調整

押すごとにCHROMA⇄PHASEの繰り返しで切替
押すごとにCONTRAST⇄BRIGHTの繰り返しで切替



2 *VOLUME/SELECTボタンで調整する*



項目	VOLUME/SELECT ボタン	
	−側	＋側
CHROMA	色が淡くなる	色が濃くなる
PHASE	赤っぽくなる	緑っぽくなる
CONTRAST	弱くなる	強くなる
BRIGHT	暗くなる	明るくなる

＊ 表示後、何も操作しないと約10秒後に画面表示は消えます。
＊ 画面表示はメニューボタンを押して消すことができます。

お知らせ

●PHASE調整はNTSCカラーシステムのときのみ働きます。PAL検出時は "PHASE:NO EFFECT" と表示されます。
●CHROMA調整は白黒信号や無信号のとき、働きません。
●CHROMA調整のレベルを「−20」にしたときは色付きが無くなります。
●選択した機能が働かないときは "NO EFFECT" と画面表示されます(約 3 秒間)。

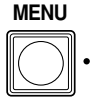
メニュー機能の使いかた

<MENU>画面の表示と選択（設定）

つぎのメニュー項目の設定ができます。
必要に応じて設定してください。

- SHARPNESS
- COLOR SYSTEM
- ASPECT RATIO
- COLOR TEMP.

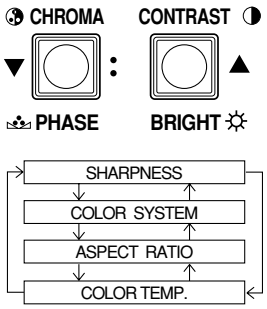
1 *MENUボタン押す*



<MENU>画面が表示されます。

＊表示後、何も操作しないと約5分後に画面表示は消えます。

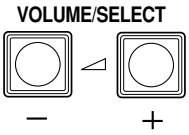
2 *CHROMA/PHASE またはCONTRAST/BRIGHT ボタンを押し、メニューの項目を選択する*



選択されている項目に選択マーク（▶）が付きます。

前面操作ボタン	機能表示	内容
CHROMA/PHASE	▼	選択マーク(▶)を順送り
CONTRAST/BRIGHT	▲	選択マーク(▶)を逆順送り

3 *VOLUME/SELECTボタンを押し、設定する*



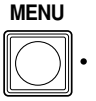
前面操作ボタン	機能表示	内容
VOLUME / SELECT(+)	＋	値をアップ（最大値まで）
	▶	設定値を順送り
VOLUME / SELECT(−)	−	値をダウン（最小値まで）
	▶	設定値を逆順送り

メニュー項目	目的	設定値
SHARPNESS	映像の鮮鋭度の調整	00↔＋1↔・・・・・↔＋4↔＋5
COLOR SYSTEM	カラーシステムの設定	AUTO ↔ NTSC ↔ PAL
ASPECT RATIO	画面のアスペクト比の設定	4−3 ↔ 16−9
COLOR TEMP.	色温度を設定	9300 ↔ 6500

＊COLOR SYSTEMの設定は通常、AUTOでご使用ください。
AUTOでの受信が良くないときは受信しているカラーシステムに合わせた専用のモード（NTSCまたはPAL）に設定してください。

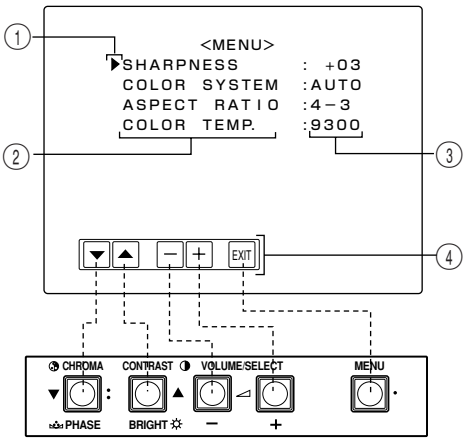
4 *その他のメニュー項目も設定したいときは、手順2、3を繰り返す*

5 *終了するにはMENUボタンを押す*



前面操作ボタン	機能表示	内容
MENU	EXIT	<MENU>画面から抜け出す

<MENU> 画面



＜前面の操作ボタン＞

①選択マーク（▶）：
選択されているメニュー項目を示します。

②メニュー項目：
選択できるメニュー項目です。

③設定表示：
設定内容（値）を示します。

④機能表示：
前面の操作ボタン(左の５つ)の機能が機能表示に対応した内容になります。

機能表示	内容
▼	メニュー項目を順送りで選択
▲	メニュー項目を逆順送りで選択
−	調整の値を下げる（最小まで）
＋	調整の値を上げる（最大まで）
▶	設定値を順送り
◀	設定値を逆順送り
EXIT	<MENU>画面の退去（解除）

お知らせ

●ASPECT RATIO機能で画面アスペクト比を16−9（16：9）に設定したときの画面は、縦が縮んだ映像になります。

●<SET-UP MENU>でASPECT REMOTEがONに設定されているときはASPECT RATIOの設定表示は "REMOTE" と表示されます。このときは<MENU>での設定はできません。

メニュー機能の使いかた（つづき）

<SET-UP MENU>画面の表示と選択（設定）

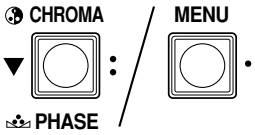
つぎのセットアップメニュー項目の設定ができます。

- H. POSITION
- WHITE BALANCE
- CONTROL LOCK
- STATUS DISPLAY
- INPUT REMOTE
- ASPECT REMOTE

お知らせ

- ●H. POSITION (水平位置) は前面操作部のINPUT SELECTボタンにより映像入力 (INPUT A (VIDEO)、INPUT B (VIDEO))ごとに設定できます。あらかじめ、前面操作部のINPUT SELECTボタンを選択してください。
- ●WHITE BALACEはCOLOR TEMP.が6500のときと9300のときそれぞれ個別に設定できます。
  あらかじめ、＜ＭＥＮＵ＞画面表示のメニュー項目「COLOR TEMP.」を6500か9300に設定してください。

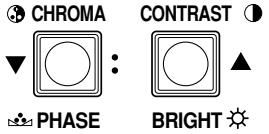
1 *MENUボタンを押しながら、CHROMA/PHASEボタンを押す*



<SET-UP MENU>画面が表示されます。

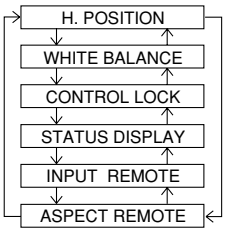
＊表示後、何も操作しないと約5分後に画面表示は消えます。

2 *CHROMA/PHASE またはCONTRAST ◑/BRIGHT ☼ ボタンを押し、メニューの項目を選択する*

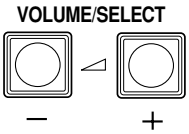


選択されている項目に選択マーク (▶) が付きます。

前面操作ボタン	機能表示	内容
CHROMA/PHASE	▼	選択マーク(▶)を順送り
CONTRAST ◑/BRIGHT☼	▲	選択マーク(▶)を逆順送り



3 *VOLUME/SELECTボタンを押し、設定する*

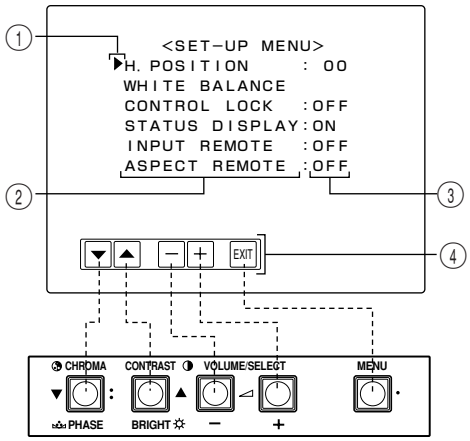


前面操作ボタン	機能表示	内容
VOLUME / SELECT(+)	＋	値をアップ（最大値まで）
	▶	設定値を順送り
	CUTO	カットオフ設定画面の選択
VOLUME / SELECT(−)	−	値をダウン（最小値まで）
	◀	設定値を逆順送り
	DRV	ドライブ設定画面の選択

お知らせ

- ●WHITE BALANCEの項目については、カットオフまたはドライブの設定画面の選択操作となります。カットオフまたはドライブの設定画面を選択後、機能表示を選択して設定（調整）してください。
- ●<SET-UP MENU>画面に戻るにはEXIT (MENU)ボタンを押してください。

<MENU> 画面



＜前面の操作ボタン＞

①選択マーク（▶）：
選択されている項目を示します。

②メニュー項目：
選択できる項目です。

③設定表示：
設定内容（値）を示します。

④機能表示：
前面の操作ボタン(左の５つ)の機能が機能表示に対応した内容になります。

機能表示	内容
▼	メニュー項目を順送りで選択
▲	メニュー項目を逆順送りで選択
−	調整の値を下げる（最小まで）
＋	調整の値を上げる（最大まで）
▶	設定値を順送り
◀	設定値を逆順送り
EXIT	<SET-UP MENU>画面の退去（解除）
DRV	ドライブの調整を選択
CUTO	カットオフの調整を選択
RB	赤･青信号レベルの調整を選択
RGB	赤･緑･青信号レベルの調整を選択
DISP	オンスクリーン表示の切・入（ドライブの調整・カットオフの調整のときのみできます。）

セットアップメニュー項目		目的	設定値
H. POSITION		画面に映る映像の水平位置の調整 (+ 方向:水平位置右に移動 / − 方向:水平位置左に移動)	−05↔−04←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+04↔+05
WHITE BALANCE		映像のホワイトバランスの調整	ドライブ調整(DRV)かカットオフ調整(CUTO)を選択します。選択した設定画面に切替わります。機能表示を選択して設定(調整)します。
DRIVE	R.DRIVE	赤ドライブの調整	−09↔−08←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+08↔+09
	B.DRIVE	青ドライブの調整	−09↔−08←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+08↔+09
CUT OFF	R.CUT OFF	赤カットオフの調整	−09↔−08←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+08↔+09
	G.CUT OFF	緑カットオフの調整	−09↔−08←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+08↔+09
	B.CUT OFF	青カットオフの調整	−09↔−08←･･･→−01↔00↔+01←･･･→+08↔+09
CONTROL LOCK		前面操作ボタンのコントロールロックの設定	OFF↔ON
STATUS DISPLAY		現在状態（カラーシステム）の画面表示の有無の設定	ON↔OFF
INPUT REMOTE		入力切替(INPUT A/B)の外部制御機能の設定	OFF↔ON
ASPECT REMOTE		アスペクトの外部制御機能の設定	OFF↔ON

4 *その他のセットアップメニュー項目も設定したいときは、手順2、3を繰り返す*

5 *終了するにはMENUボタンを押す*



前面操作ボタン	機能表示	内容
MENU	EXIT	<SET-UP MENU> 画面から抜け出す

お知らせ

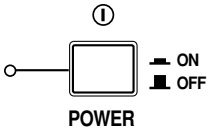
- CONTROL LOCK機能を入(ON)に設定し、前面の操作ボタンを操作すると "CONTROL LOCK ON!" のメッセージが画面に表示されます。
- CONTROL LOCK機能は電源を切っても保持されます。
- CONTROL LOCK機能を切(OFF)にするにはMENUボタンを押しながらCHROMA/PHASEボタンを押し、そしてCONTROL LOCK機能を切(OFF)に設定します。
- CONTROL LOCK機能が入(ON)でもつぎの操作はできます。
  − POWERスイッチの操作
  − VOLUME/SELECTボタンでの音量操作
  − <SET-UP MENU> 画面の表示操作
  − INPUT REMOTEまたはASPECT REMOTEが入のときの外部制御操作
- STATUS DISPLAY機能の設定は電源を入れたときや入力を切り替えたときなどに、カラーシステムの現在状態を画面表示する (ON) か、しない(OFF)かを選択する機能です。表示については8ページをご覧ください。
- INPUT REMOTE 機能を入(ON)に設定しているときは、前面操作部のINPUT SELECTボタンを押すと、"REMOTE ON ! " のメッセージが画面に約3秒間表示されます。(CONTROL LOCK ON時は表示しません。)
- INPUT REMOTEおよびASPECT REMOTEはON選択時に有効になります。

設定を初期化するには

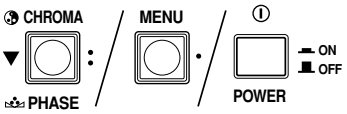
<SET-UP MENU> RESETの画面表示と選択（設定）

<MENU>や<SET-UP MENU>画面の項目、映像調整の項目や音量を工場出荷時（初期）の状態に戻すことができます。

1 *POWER(⏻)スイッチを押して、電源を「切(■OFF)」にする*



2 *MENUボタンとCHROMA/PHASEボタンを押しながらPOWER(⏻)スイッチを押し、電源を「入(▂ON)」にする*



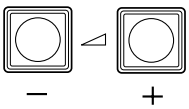
<SET-UP MENU> RESETの画面が表示されます。

お知らせ

●電源を「入(▂ON)」にした後、MENUボタンとCHROMA/PHASEボタンを押している時間が短いと<SET-UP MENU>RESETの画面が表示されません。表示画面が出るまで押し続けてください。

3 *設定する*

●初期化するときは



VOLUME/SELECTボタンの「+」を押す。

＊初期化が完了し、<SET-UP MENU> RESETの画面が消えます。

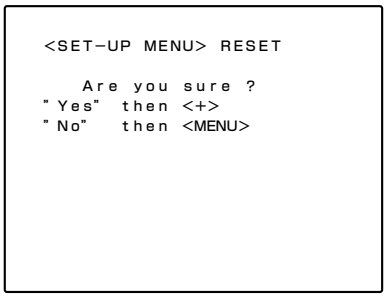
●初期化しないときは



MENUボタンを押す。

＊設定が初期化されず<SET-UP MENU> RESETの画面が消えます。

<SET-UP MENU> RESETの画面



初期設定値

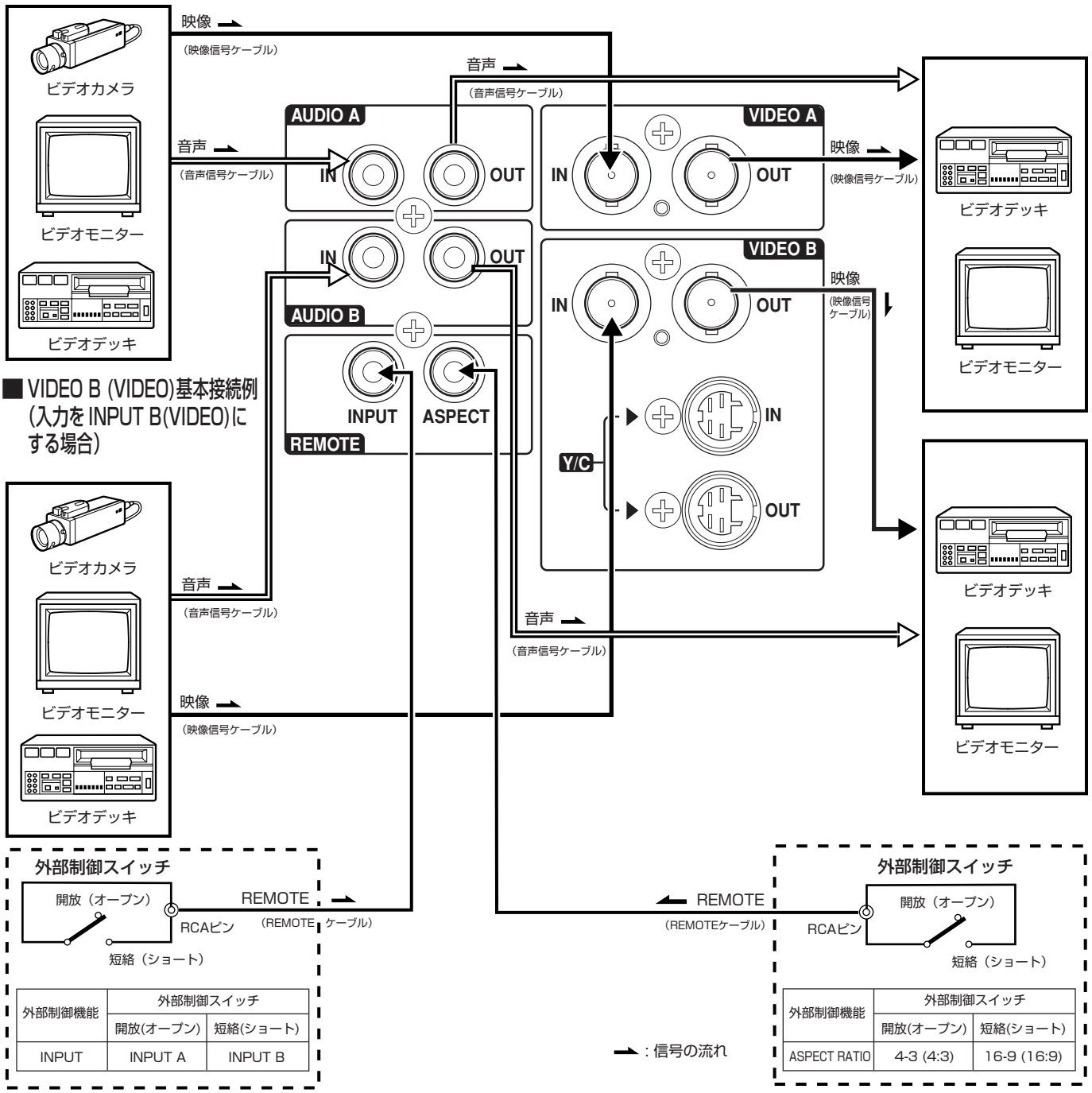
種類	機能（項目）	初期化（設定値）
<MENU>画面	SHARPNESS	+03
	COLOR SYSTEM	AUTO
	ASPECT RATIO	4−3
	COLOR TEMP.	9300
<SET-UP MENU>画面	H. POSITION	00
	WHITE BALANCE	
	R. CUT OFF	00
	G. CUT OFF	00
	B. CUT OFF	00
	R. DRIVE	00
	B. DRIVE	00
	CONTROL LOCK	OFF
	STATUS DISPLAY	ON
	INPUT REMOTE	OFF
	ASPECT REMOTE	OFF
映像調整	CHROMA	00
	PHASE	00
	CONTRAST	00
	BRIGHT	00
音量	VOLUME	20

基本接続のしかた

お願いとお知らせ

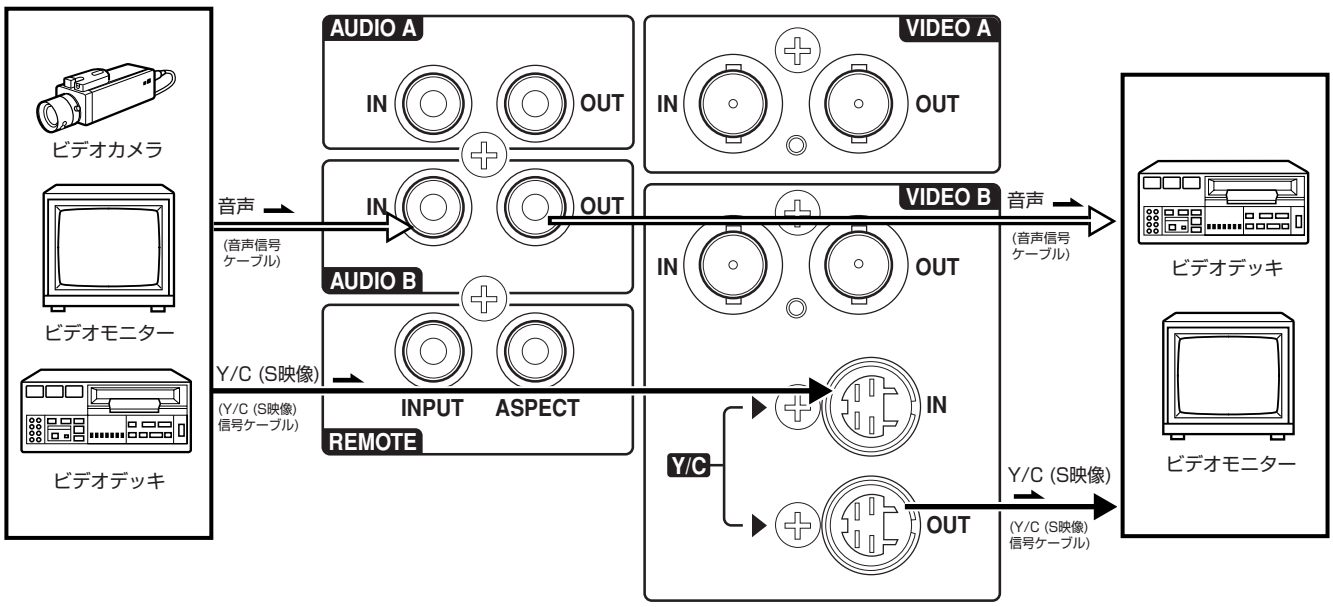
- ●接続するときは各機器の電源を切ってください。
- ●図は接続例を示したものです。
  機器によって端子の接続方法が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書をよくお読みください。
- ●ブリッジ出力端子（OUT）に機器を接続しないときは、ブリッジ出力端子（OUT）にケーブルを接続しないでください。
  ブリッジ出力端子（OUT）にケーブルを接続することにより、終端抵抗がオープンになる機能（自動終端機能）になっています。
- ●ブリッジ接続を行なうときは、入力端子（IN）とその出力端子（OUT）をそれぞれ別のビデオ機器につないでください。
  （例えば、同じビデオデッキにつないだときは、ビデオデッキの再生中を除き、発振現象が起きます。これは、機器間を同じ信号が回るために起こる現象で、故障ではありません。）
- ●前面操作部のINPUT SELECTボタンで映像入力（INPUT A（VIDEO）、INPUT B（VIDEO））を選びます。
- ●REMOTE端子を使って、ASPECT RATIOまたはINPUT A/Bの切り替え機能をそれぞれ制御できます。制御するときは、<SET-UP MENU>画面でASPECT REMOTEまたはINPUT REMOTEの設定をしてください（10〜11ページ参照）。

■ VIDEO A 基本接続例（入力を INPUT A（VIDEO）にする場合）



基本接続のしかた（つづき）

■ VIDEO B(Y/C)基本接続例
（入力を INPUT B（Y/C）にする場合）



: 信号の流れ

故障かなと思ったら（トラブルシューティング）

修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	ここを確認してください	対処方法
電源が入らない	差し込みプラグがゆるんだり、はずれたりしていませんか。	プラグを確実に差し込んでください。
電源が入っているのに映像が出ない	接続機器から、信号が出ていますか。	接続機器を正しく設定してください。
	入力の切り替えは正しいですか。	INPUT SELECT ボタンで入力を切り替えてみてください。（6 ページ参照）
	映像ケーブルがはずれていませんか。	映像ケーブルを確実に接続してください。（13 ページ参照）
音が出ない	接続機器から、信号が出ていますか。	接続機器を正しく設定してください。
	音量が最小になっていませんか。	VOLUME/SELECT ボタンで音量を調整してみてください。（8 ページ参照）
	音声ケーブルがはずれていませんか。	音声ケーブルを確実に接続してください。（13 ～ 14 ページ参照）
映像が揺れる	近くにモータ、変圧器等強い磁界を発生するものがありませんか。	映像が揺れなくなるまで、離してください。
色がつかない、色がおかしい、映像が暗い	カラーシステムの選択は正しいですか。	<MENU> 画面の COLOR SYSTEM の設定を「AUTO」にしてみてください。（9 ページ参照）
	画像調整（CONTRAST、BRIGHT、CHROMA、PHASE）が変わっていませんか。	各画像調整を標準にしてみてください。（8 ページ参照）
映像の一部が、色むらになったり色ズレしている	近くにスピーカーや、磁石等がありませんか。また、近づけませんでしたか。	スピーカーや磁界等を遠ざけてから一度電源を切り、30 分以上経過後、再度電源を入れ直してください。
画面の上下が黒く、映っている映像が縦に縮んでいる	画面に映るアスペクト比を 16：9 にしていませんか。	＜ MENU ＞画面の ASPECT RATIO の設定を「4：3（4 － 3）」にしてください。（9 ページ参照） 外部制御しているときは外部制御で ASPECT RATIO の設定を「4：3(4 － 3)」にしてください。（13 ページ参照）
前面の操作ボタンが働かない	前面操作ボタンのコントロールがロックされていませんか。（CONTROL LOCK 機能を「入（ON）」にしていませんか。）	<SET-UP MENU> 画面の CONTROL LOCK を「切（OFF）」にしてください。（10 ～ 11 ページ参照）
INPUT SELECT ボタンが働かない	入力切り替えが外部制御になっていませんか。（INPUT REMOTE 機能を「入（ON）」にしていませんか。）	<SET-UP MENU> 画面の INPUT REMOTE を「切（OFF）」にしてください。（10 ～ 11 ページ参照）

このようなときは故障ではありません

- ●画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。
  これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- ●ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- ●部屋の温度変化により、モニターから「ミシッ」という音がすることがあります。画面に異常がなければ心配はありません。
- ●モニターを2台以上ならべて使用すると、画像がゆれたり、ノイズがでたりすることがあります。これは相互干渉しているためで、故障ではありません。
  モニターの間隔を影響がなくなるまで離したり、使っていないモニターの電源を切るなどしてください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

カラービデオモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に15ページの「故障かなと思ったら」にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品　　名	カラービデオモニター
型　　名	TM-A210
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電 話 番 号	（　　）　　－
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　（　　）　　－

愛情点検　●長年ご使用のモニター・テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	ご使用を中　止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

主な仕様

型名		TM-A210
種類		カラービデオモニター
カラー方式		NTSC、PAL方式
ブラウン管		21型、フラットスクエアタイプ、 90˚偏向、インライン形電子銃、 垂直線トリオタイプ（ストライプピッチ 水平: 0.63/垂直: 0.64）
有効画面寸法		横幅　406.4 mm 高さ　304.8 mm 対角　508.0 mm
走査周波数		水平：15.734 kHz (NTSC) 、15.625 kHz (PAL) 垂直：59.94 Hz (NTSC) 、50 Hz (PAL)
水平解像度		450 TV 本以上
入力端子	VIDEO A	コンポジットビデオ：1系統、BNCコネクター x 2、 1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負 （ブリッジ接続可、自動終端）
	VIDEO B (Y/C信号優先)	コンポジットビデオ：1系統、BNCコネクター x 2、 1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負 （ブリッジ接続可、自動終端）
		Y/C：1系統、ミニDIN 4ピンコネクター x 2、 Y：1.0 V(p-p)、75 Ω C：バースト 0.286 V(p-p)、75 Ω（NTSC)、0.3 V(p-p)、75 Ω（PAL） （ブリッジ接続可、自動終端）
	AUDIO A	1系統（モノラル）、RCAピン x 2、0.5 V (rms)、ハイインピーダンス （ブリッジ接続可）
	AUDIO B	1系統（モノラル）、RCAピン x 2、0.5 V (rms)、ハイインピーダンス （ブリッジ接続可）
	REMOTE INPUT	1 系統、RCAピン x 1
	REMOTE ASPECT	1 系統、RCAピン x 1
音声出力		1 W
スピーカー		8 cm 丸型 x 1、インピーダンス 8 Ω
環境条件		使用周囲温度：0 ℃ ～ 40 ℃ 使用周囲湿度：20 % ～ 80 %（非結露）
使用電源		AC 100 V、50 Hz / 60 Hz共用
消費電力		95 W
外形寸法		横幅　476 mm 高さ　407.5 mm 奥行　492 mm
質量		約 28.1 kg
付属品		電源コード（約 2 m）x 1

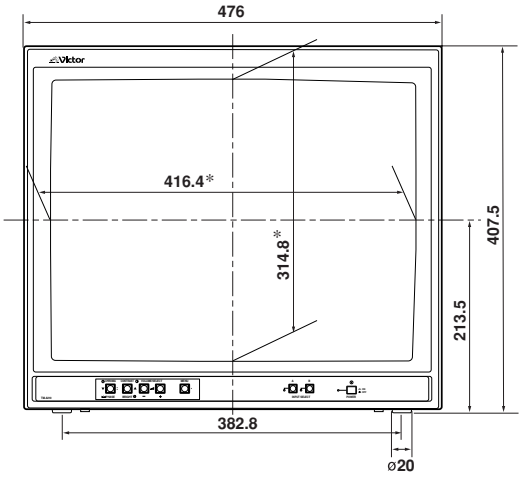
※ このモニターを使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This monitor set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
※ モニターの型 (21型等) は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

主な仕様（つづき）

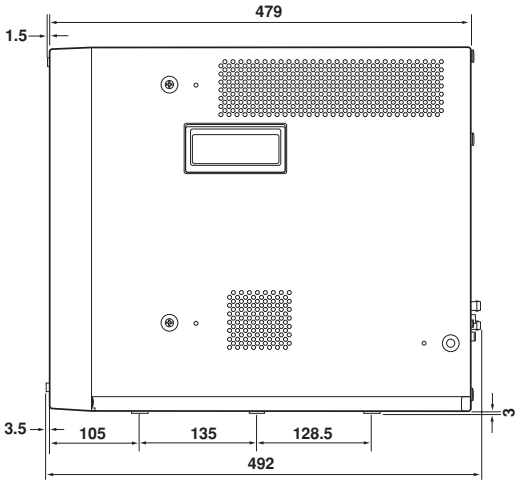
■外形寸法図

（単位：mm）

＜前面＞

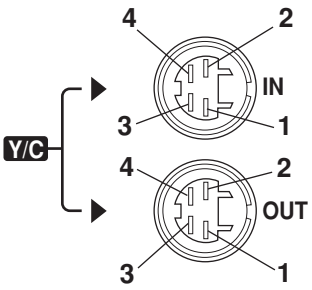


＜側面＞



＊印の寸法は、フロントパネルの寸法です。

■Y/C (ミニDIN 4ピン)端子の仕様



ピン番号	信号
1	GND (Y)
2	GND (C)
3	Y
4	C

TM-A210 カラービデオモニター 取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
16ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(03) 5684−9311** **FAX　(03) 5684−9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2003 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

0803-MK-MW-JMT